

**製品名: PKD1 ラットモノクローナル抗体****カタログ番号: AMR81426**

研究使用のみ

**概要**

|        |   |
|--------|---|
| 説明     | ラットモノクローナル抗体                                      |
| 宿主     | ねずみ   |
| 応用     | ELISA,FC  |
| 反応性    | 人間  |
| 標識     | 非共役   |
| 修飾     | 未修正   |
| アイソタイプ | Rat IgG1  |
| クローン性  | モノクローナル   |
| 形態     | 液体  |
| 濃度     | 0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。                |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送     | 氷袋  |
| バッファー  | 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体                       |
| 精製     | アフィニティー精製   |

**応用**

|      |                                     |
|------|-------------------------------------|
| 希釈倍率 | ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量  | 466kDa                              |

**抗原情報**

|              |  |
|--------------|--|
| 遺伝子名         | PKD1   |
| 別名           | PC1; Mflj00285                                 |
| 遺伝子 ID       | 18763.0  |
| SwissProt ID | O08852   |
| 免疫原          | 大腸菌で発現したマウス PKD1 (AA: 3682-3873) の精製された組み換え断片。 |

**背景**

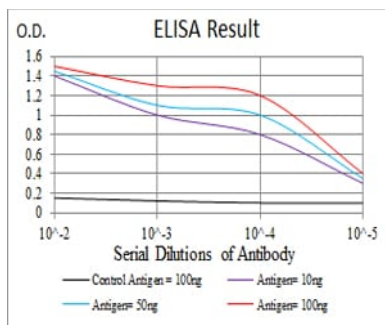
腎尿細管形成に関与する。腎上皮における一次繊毛による流体流動の機械感覚に関与する。PKD2 と共に繊毛長の調節因子として機能する。繊毛長の動的制御は、機械伝達シグナル伝達の制御に不可欠である。繊毛長への反応は負のフィードバックループを形成し、

流体せん断を介した一次繊毛の偏向が細胞内 cAMP を減少させ、繊毛の短縮を招き、結果として流動誘導性シグナル伝達を低下させる。イオンチャネル調節因子である可能性がある。タンパク質間接着およびタンパク質-炭水化物接着に関与する。

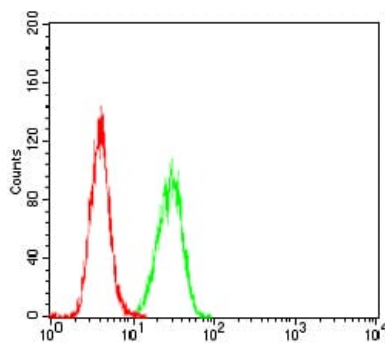
## 研究分野

-

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



PKD1 ラット mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。